

宮崎日日新聞

THE MIYANICHI

2026年(令和8年)

2月3日(火)

森山靖さんの果樹園でたわわに実るマイヤーレモン



まろやかな酸味と香り

「日南レモン」出来上々

日南市大窪にある森山靖さん(59)の果樹園で、マイヤーレモンの収穫作業が行われている。2日はスタッフがたわわに黄色く完熟した実を一つ一つ摘み取っていた。森山さんは「天候に恵まれ、今季はかなりの豊作。出来も上々」とPRする。

温暖な気候で太陽をいっぱいに浴びて育った同市産マイヤーレモンは、まろやかな酸味と香りの良さが特徴。皮が薄くて果汁も豊富という。皮まで安心して味わうこともできる。

森山さんは約1畝で作付け。収穫期は10〜3月と長く、森山さんは市場の流通量が少ない時期をにらみ、今季は1日から3日間で一気に収穫する。収量は約10トと見込む。

大窪地区に隣接する下塚田地区の生産者を中心に昨年9月、「日南レモン生産組合」(作本和則会長、8人)が発足。副会長を務める森山さんは「生産者で協力しながらブランド化を目指し、安心安全で良質なレモンを消費者にお届けしていきたい」と話している。

(秋吉啓介)